

こんな先生方の姿が生まれました!

- 日常的に「活用してみたら、子どもが…」など活用に関して職員間の交流が増えました。
- 「この教科や授業でも使ってみよう。」という意欲的な先生の姿が増えました。

打ち合わせ後の職員室や放課後の教室で、計画的に研修を行う

情報主任が中心となり、G サービスで活用できるアプリや機能をピックアップし、計画的に研修を行う。

- ・職員全員ではなく、ICT 活用に不安を感じている先生を中心に打ち合わせ後の職員室や放課後の教室を用いて研修を行い、活用できるアプリの使い方を研修する。
- ・近くにいる先生と相談しながら研修を行い、分からないことを聞きやすいように ICT コーディネーターや活用できる教員が巡回しながら研修を行う。

日にち	使用アプリ	内容
8/24	Gmail	タグ作成、自動振り分けの設定
8/31	classroom	作成方法、参加、基本操作
9/2	classroom	課題作成
9/14	Jamboard	機能確認
9/22	Jamboard	課題作成
9/30	Jamboard	共有方法
10/5	Forms	アンケートの種類
10/21	Forms	アンケートの作成
11/11	Forms	図や写真の挿入
11/30	Forms	質問の分岐方法
12/14	Forms	テストの作成方法とスプレッドシート

「ICT 活用研修」を行う際のポイント

- 受講する教員の負担が大きくなるように、内容を絞って、できるだけ短時間で研修を行う。
- 情報主任が話す時間を極力減らし、実際にアプリや機能进行操作する時間を確保する。

「ICT 研修」による効果

教員間でICTを活用した授業について日常的な交流が増え、有効な情報共有につながる。

- ・「今日、社会の授業でJamboard を使ってみたら、子どもたちの意見を簡単に共有することができたよ。」「フォームでアンケートを作って、係の選出に使ってみたよ。」「え? どうやって作ったの?簡単にできる?やってみたい。」「子どもと授業で使う資料を共有したいけど、どうしたら簡単に共有できるかな?」
- ・研修で学んだアプリや機能を活用してみた結果や感想を交流する姿が増えたことで、さらに使い方の共有や使い方の相談など活用に関する交流が生まれ、情報共有が行われるようになった。

日常的な交流の中で得た新しい情報を活用しようと、教師の主体的な姿につながる。

- ・classroom で資料を配付してみよう。
 - ・classroom で課題を出し、レポート提出させてみよう。
 - ・Jamboard を使って、資料の共有化を図ってみよう。
 - ・フォームでレディネステストを作ってみよう。
- ※研修後、意欲的に活用しようとする姿が多くなった。



教師がG サービスについて理解を深め、活用することにより、生徒の主体的な学びにつながります。

ICTコーディネーターの指導のポイント

- 実践した先生の話聞く中で、その先生の意図を共有しながら、他の教師にも活用方法を共有できるようにする。

